



ITU理事会作業部会結果報告

総務省 国際戦略局 国際政策課 **白江** しらえ **久純** ひさすみ

総務省 国際戦略局 国際政策課 **長屋** ながや **嘉明** よしあき

総務省 国際戦略局 国際政策課 **大槻** おおつき **芽美子** めみこ

1. 概要

2019年1月28日から2月1日にかけてITU理事会作業部会(CWG: Council Working Group)がITU本部にて開催された。

今回はPP-18以降最初の会合であり、新理事国メンバーでの最初の会合である。国連公用6言語、財政人事、世界情報社会サミット(WSIS)及びSDGs、国際インターネット公共政策に関する各作業部会が行われた。本会合では、6月に開催される理事会に向けて各課題に関する詳細な議論が行われるとともに、理事会への報告書が作成される。

2. 国連公用6言語の利用に関する理事会作業部会(CWG-LANG)

本作業部会は、国連公用6言語(英、仏、西、露、中)の利用について、Webページや各種文書の6言語化の推進並びに通訳及び翻訳の効率化、コスト低減について議論が行われた。

2.1 Webページの完全6言語化の進捗状況

英語以外のページからのリンクが英語ページにつながるなど、取組みが不十分であり、さらなる改善を事務局に求めた。

2.2 6か国語翻訳への機械翻訳(AI含む)の適用に関するパイロットプロジェクト

同プロジェクトにはロシア、中国、アルゼンチン、チュニジアの企業が参加しており、加えてスペインからも参加の意向表明があった。また中国からキャプションの重要性にも触れられた。(中国企業がキャプション改善プロジェクトに参加)

3. 財政人事に関する理事会作業部会(CWG-FHR)

本作業部会は、ITUの財務人事状況について、内部監査、外部監査からの指摘事項を確認しつつ、ITU事務局が作

成した2020-2021年予算案について議論を行った。

3.1 中小企業のITUへの低負担での参加

PP-18で認められた中小企業のITUへの低負担での参加(新決議COM5/3)について、対象となる中小企業の年間売上上限額を理事会で決定することが求められているところ、EU上限の5700万CHF(スイスフラン)/年、ILO定義の5000万CHF/年、世界銀行の定義の1500万CHF/年で意見が分かれ、事務局に対し更なる分析を求め、理事会で検討することとなった。

3.2 ITU Telecom World

毎秋に開催されているITU Telecom Worldは来場者数が減少しており、PP-18で改善に向けた外部コンサルタントの導入等が決議された。今回会合で外部委託要件を作成し、今後調達手続きを経て契約となる。コンサルタント結果は2020年理事会に報告される。

3.3 第三者監査委員会の指摘事項

第三者監査委員会の指摘により改善が求められた調達手続きについて、新調達ガイドラインは数か月以内に発効すると報告が事務局よりあった。また2017年にITUの調達手続きにおいて発生した詐欺事件に対し、加盟国及び第三者機関に対し十分な情報公開を行うことを事務局に対し求めた。

3.4 世界電気通信政策フォーラム(WTPF)の予算措置

PP-18において、2021年の開催が決定(決議2)したWTPFについて、2019年から2021年に計5回開催予定の準備会合(EG-WTPF)に関する追加予算を認めることで合意した。

3.5 2020-2021予算案

事務局から提出された2020年から2021年のITU予算案(2年間予算案は3億3134万CHF)については、上記変更を全て含めて各局長間で更なる調整が要請された。再度、理事会で議論された後、承認される。



4. WSIS及びSDGsに関する理事会作業部会 (CWG-WSIS & SDGs)

WSIS (World Summit on the Information Society) は、情報社会に関する共通ビジョンの確立を図るための具体的な方策を各国首脳レベルで検討するため、ITU主導の下で2003年（ジュネーブ）及び2005年（チュニス）に開催された。ITUはUNESCO、UNCTAD、UNDPとの共催により毎年WSISフォーラムを開催し、本作業部会では情報社会の鍵となる11のアクションライン（インフラ整備、人材育成、セキュリティ確保等）のフォローアップを行っている。PP-18の決議（決議140）により、本作業部会の委任事項にITUにおけるSDGs関連活動のフォローアップが追加された。

4.1 WSISアクションライン・ロードマップの更新

PP-18の結果に基づき、追加されたSDGs関連活動について、ITU-D SG各課題、WSISアクションライン、SDGsとの関連性のマッピングを行うよう、事務局に求めた。

4.2 WSIS Stocktakingデータベース

WSIS成果に貢献したベストプラクティスをまとめたWSIS Stocktakingデータベース (<http://www.itu.int/net4/wsis/stocktaking/en/Database/Search>) について、ITUの各活動における利活用を事務局に求めた。

4.3 WSISフォーラムの地域ごとのレビュー

WSISフォーラムが途上国におけるデジタルディバイド解消に重点を置くようになったことから、地域WSISフォーラムの開催を検討するよう理事国から提案があり、地域の国際機関と協力し、地域ごとのレビューを検討することとなった。

4.4 WSISフォーラム2020

WSIS2005から15年を迎える2020年のWSISフォーラムにおいて、中間レビューを行う計画の提案が事務局からあ



写真1. 雪のジュネーブ。Tower最上階からVarembé方向。

たものの、レビューは10年ごととされていること、レビューの開始はUNGAで決定する事項であることから、状況分析をITUから提供するという内容で合意した。併せてハイレベルの参加を促進するよう事務局に求めた。

5. 国際インターネット公共政策に関する理事会作業部会 (CWG-Internet)

本作業部会は、インターネットを巡る国際公共政策についての理事会で取り上げるべき課題を特定し、特定された課題に対し、オープンコンサルテーションを通じてすべてのステークホルダーから意見を聴取する。途上国を中心に、国際的な規制枠組みを策定すべきとの声が多い中、我が国は、マルチステークホルダーアプローチを維持することを最優先に対処している。

今回合会では、オープンコンサルテーションのテーマについて議論が行われたものの、各国の主張が折り合わず、ブラジル提案及び降雪による時間制限により、次回理事会において再度議論することとなった。

各国から提案があったテーマのうち主なものは以下のとおり。

- ・OTT国際規制枠組み（ロシア）
- ・地域インターネットガバナンス（ロシア）
- ・コミュニティネットワーク（カナダ、英国）
- ・AI、IoTなどの新興技術の社会経済的影響（サウジアラビア）

6. 今後の予定

4月8～12日 WSISフォーラム2019（ジュネーブ）

6月10～20日 理事会（ジュネーブ）



写真2. スイス名物、Meringues et crème double de la Gruyère、美味でした。